

専門外来特集

心不全・心筋症外来

について

心不全・心筋症外来での取り組み

近年高齢化が進んでいることや生活習慣の変化を背景に心不全患者数は増大しています。心不全に罹患することは、予後を悪化させるというだけではなく心不全による再入院を繰り返し ADL の低下や認知症の進行といったさらなる問題を引き起こすことが知られています。近い将来に心不全パンデミックが引き起こされ医療ひっ迫となることが懸念されています。

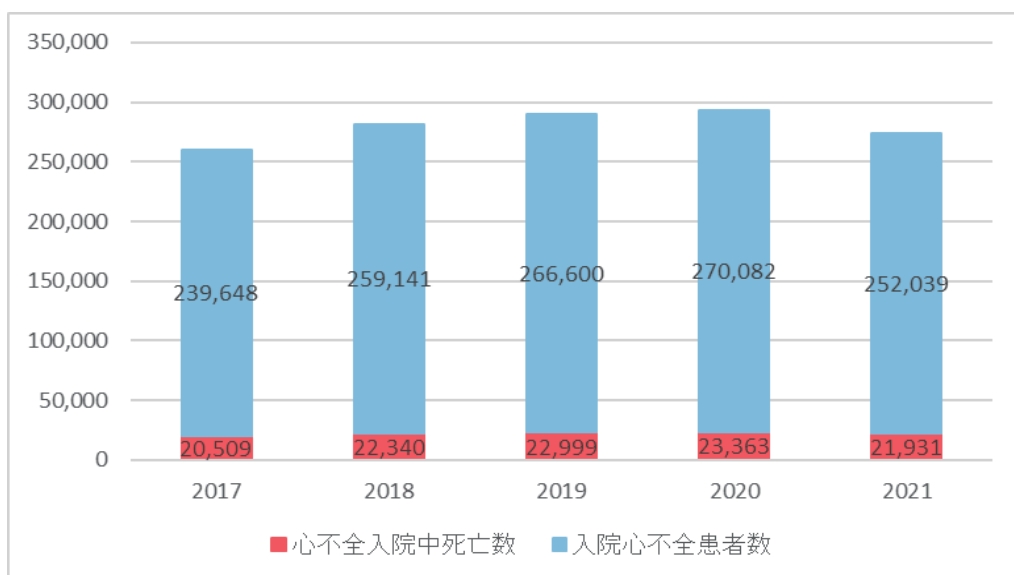
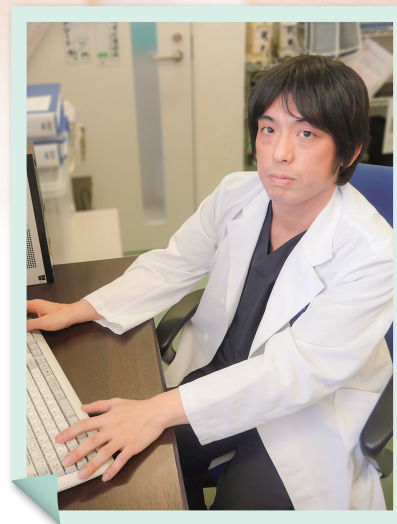
そのような状況に対して地域の心不全患者に対してより質の高い医療を提供するために、心不全・心筋症外来を開設しました。当院での心不全・心筋症外来では①診断および加療・②再入院の抑制・③心不全患者に対する緩和ケアを軸に診察を行っています。

循環器内科 医長

大西 裕之

金沢大学 平成21年卒業

- ・ 循環器専門医
- ・ 日本内科学会認定内科医・指導医
- ・ 日本心血管インターベンション治療学会認定医
- ・ 緩和ケア研修 修了



引用：2020年循環器疾患診療実態調査 報告書

心不全・心筋症に対する診断および加療について

ここ数年の間に新たな内服薬・カテーテル治療・外科治療が登場してきています。

現在心不全に対する標準治療薬は、4種類の薬剤が使用できるようになっています：

- ① β遮断薬
- ② レニンアンギオテンシン系阻害薬
(ACE/ARB/ARNI(サクビトリルバルサルタン))
- ③ ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬(MRA)
- ④ SGLT2(ナトリウム-グルコース共輸送体2)阻害薬

薬物療法以外にも経皮的動脈弁置換術・経皮的僧帽弁形成術や外科的な低侵襲心臓手術が行えるようになってきました。これらの手技につきましては残念ながら当院では施行はできませんがその適応を踏まえ適切な時期に高度専門病院へ紹介できるように準備をしています。

心筋症については、最近心アミロイドーシスやFabry病に対する特異的な治療を行うことができるようになりました。そのためスクリーニングや精査を行う機会が増えてきたため以前より心アミロイドーシスやFabry病が増加している傾向にあります。

当科では診断をより正確に行うために、心筋症を疑う患者に対して積極的にカテーテルでの心筋生検検査を行っています。正確な診断を行うことがより適切な治療につながるということだけでは

なく、難病申請など社会サポートが受けやすくなることでさらにメリットがあると考えています。心アミロイドーシスを含め心筋症には心病変以外にも全身に病変を認めるものがあり、血液内科や脳神経内科といった様々な科と協力を行い、診療を行っています。

またがんに対する化学療法が増加していることもあり、抗癌剤治療関連心筋障害が問題となっています。心エコーでの定期的なスクリーニングを行い心機能悪化がないかを確認し、安全に化学療法を受けて頂くようなサポート体制をとっています。

再入院を抑制するため

心不全患者の再入院する誘因としては、塩分・水分制限の不徹底、内服薬コンプライアンス不良、活動量増加による過負荷などがあげられます。また入退院を繰り返すことによる心理的・社会的な不安も予後を悪化させると言われています。そのため当院では多職種(医師・看護師・薬剤師・理学療法士・管理栄養士・社会福祉士)が介入する取り組みを行っています。

入院された心不全患者には入院中は積極的な心臓リハビリを行いADLの維持や退院後の適切な活動量を指導しています。病棟では退院前には心不全指導を行い日常生活での留意点や早期受診すべき症状やポイントを説明しています。

週1回多職種が集まって心不全カンファレンス

を行っています。医学的な観点だけではなく服薬の問題点や退院後の生活や社会サポートなどを幅広く議論し再入院抑制に努めています。

退院後も心臓リハビリに通院していただくこともあります。心臓リハビリを通じて生活状況の変化から心不全悪化の兆候を発見し外来での心不全コントロールを早期から行うようにしています。



心不全患者に対する緩和ケア

緩和ケアはこれまではがんを対象とされてきましたが、最近では心不全を含めた慢性疾患が対象となっています。急性・慢性心不全診療ガイドラインでも心不全緩和ケアが推奨されたこともあり関心が高まっている分野ですが、がんとは違い心不全は増悪による入退院を繰り返し最後は急速に悪化するために終末期の判断が困難な疾患です。治療方法の進歩や様々な再入院抑制の手立てをとっても残念ながら入退院を繰り返す心不全患者はおられます。そのような末期心不全患者は身体的精神的な苦痛や社会的な問題に直面しており、そのサポートを必要とされています。

当院では心不全緩和ケアトレーニングコース(HEPT)指導者講習を受講し専門的な知識をもっ

て診療し、適宜緩和ケア科や多職種でのサポートが行える体制も整えております。

今後は在宅での心不全ケアにつきましてもお手伝いできればと思っております。

最後に

地域の心不全患者に対してより質の高い医療を提供できるように今後も尽力していきますので、心不全でお困り症例や心エコー検査での異常所見を認める場合には、いつでもご相談いただければ幸いです。今後とも神鋼記念病院循環器内科を宜しくお願いいたします。

開業医探訪

Vol.63

せき川クリニック

今回の開業医探訪は、JR摂津本山駅から南へ徒歩3分、内視鏡検査を中心とした診療に取り組んでいる「せき川クリニック」へ訪問致しました。

— 診療を開始されてどれくらいになりますか？

元々神戸出身でしたので、慣れ親しんだ場所での開業を検討してきました。2019年5月に東灘区で診療を開始し、現在3年目に入っています。

— どのような患者さんが来院されますか？

便潜血やバリウム検査で要精査の判定を受けた方が、内視鏡目的で多く来院されています。当院は土曜日・日曜日も施行しておりますので、神戸市内を中心に遠方から来院される方もおられます。消化器内科を標榜しておりますので、内視鏡検査以外にも消化器疾患で受診される方もおられ、年齢層としましては健診を受けられた方の受診が多く30代をはじめとした比較的若い印象です。

— 診療にあたり心掛けていることは何ですか？

内視鏡は、レントゲンやエコーなどの検査に比べて負担のかかる検査です。不安を感じながら来院される方もおられますので、できる限り楽に安心して受けて頂けるよう気を配りながら行うように努めています。

— ひとこと

引き続き、患者さんのニーズに沿った診療を行っていきます。特に検査については、安心して受けて頂けるよう工夫をしながら取り組んでいきます。また、症状等によっては病院での精査が望ましいケースもあります。その際は、スムーズに受けて頂けるよう医療機関と連携し、地域医療に貢献できたらと考えています。

せき川クリニック

〒658-0081 神戸市東灘区田中町1丁目6番11号
毛利ビル2階

TEL：078-436-0335

院長：関川昭

●…予約診療

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	○	○	/	○	○	○	●
検査(予約制) 13:30～15:30	●	●	/	●	●	●	●
16:00～18:30	○	○	/	○	○	/	/

休診 水曜、土・日曜午後、祝日

※内視鏡検査、日曜診療は予約優先制ですが、当日検査、診療をご希望の方はお電話にてお問合せください。

緩和治療科コラム

特殊なオピオイド：メサドン②

緩和治療科 科長 山川 宣

麻薬中毒の治療にも値いられることが多かったメサドンですが、難治性疼痛への効果も報告されました。また、1947年に発売された古い薬ですので薬価が安いという特徴がありました。

がん疼痛治療が重要との認識が広まり、医療用麻薬の処方が増える中で、一部のアメリカの民間医療保険会社は、高価な徐放薬（MS コンチン[®]、オキシコンチン[®]、フェントス[®] など）ではなく、蓄積性で徐放薬より長時間作用かつ安価なメサドンの使用を医師に依頼するようになります。一般の医師が患者の求めに応じてメサドンを増量するようになり、米国オピオイドクライシスの一翼になってしまいます。処方量にして1.7%のメサドンが、オピオイド関連死の30%を占め、乱用による救急受診が年間6万件も発生する事態となりました。

しかし、従来の治療法に反応が乏しい難治性疼痛に顕著な効果あることから、日本では緩和医療学会が要望を行い、厳格な適正使用の仕組みを構築することで、従来のオピオイドで効果がなかった場合のみのB「第4段階のオピオイド」として承認。こうして発売されたメサペイン[®]は、eラーニングを受講した医師および受講した薬剤師のいる薬局のみ処方できる薬剤となりました。

第37回 研究カンファレンス (個の医療研究会共催)

日時 2022年2月24日(木)
17:30 ~ 18:30

演題 『臨床研究の倫理と実践』

演者 神戸大学医学部附属病院 薬剤部 副薬剤部長
臨床研究推進センター 副センター長

久米学先生

申込方法 参加をご希望の方は、施設名、氏名、ご連絡先（電話番号・メールアドレス）を下記メールアドレスまでご連絡ください。後日、ZoomのID・パスワードを送付させていただきます。
koyama.saori@shinkohp.or.jp

お問合せ 神鋼記念会 総務室 児山（こやま） TEL：078-261-6711



Medical News

2022年2月
Vol.175

Shinko Hospital

Contents

- 専門外来特集
心不全外来・心筋症外来
- 開業医探訪
- 緩和治療科コラム
- インフォメーション

■ 神鋼記念病院理念

公益性を重んじ、質の高い医療を通して皆様に愛される病院を目指します。

■ 基本方針

1. 快適な医療環境と医療設備を整え、安全で質の高い医療を提供します。
2. 患者さんの人格や価値観を尊重し、プライバシーを守ることを約束します。
3. 断らない救急医療を目指し、地域社会の信頼と期待に応えます。
4. 地域の医療機関や行政との連携を密にし、切れ目のない医療サービスの提供に努めます。
5. 高い医療技術を持った人間性豊かなスタッフを育成します。

社会医療法人神鋼記念会
神鋼記念病院

〒651-0072 神戸市中央区脇浜町1-4-47
TEL:078-261-6711 (代表)
FAX:078-261-6726
URL:https://shinkohp.jp
発行責任者：理事長 山本 正之
編集責任者：神鋼記念病院広報委員長
松本 元

講演会などの
詳しい情報はこちらから!!

神鋼記念病院

https://shinkohp.jp